

## 韓国における日本人タレント・スポーツ選手の人気調査

男性タレント「木村拓哉」、女性タレント「広末涼子」

ミュージシャン「X JAPAN」、スポーツ選手「野茂英雄」が認知度トップ

2005年12月14日  
株式会社マクロミル  
株式会社エー・アイ・ピー

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:福羽泰紀)と株式会社エー・アイ・ピー(本社:東京都千代田区、社長:渡邊秀文)は、「韓国における日本人タレント・スポーツ選手の人気調査」を共同実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2005年11月21日(月)～11月22日(火)、調査対象はエー・アイ・ピーの韓国調査パネル20～39歳の男女。有効回答数は498名から得られました。

### 【調査結果概要】

#### 1. 韓国で認知度1位の日本人男性タレントは「木村拓哉」(30%)

##### 韓国で認知度1位の日本人女性タレントは「広末涼子」(37%)

韓国で認知度が高い日本人タレントをそれぞれ聞いたところ、男性タレントでは、「木村拓哉」が30%と最も高く、次いで「北野武」が27%と続いています。上位にはジャニーズ事務所所属のタレントが多くランキングされています。「北野武」が2位にランキングされているのは、北野武監督の映画が韓国で評価されていることが背景にあるようです。また女性タレントでは、「広末涼子」が37%と最も高くなっています。映画「鉄道員(ぽっぽや)」が韓国において人気を博したことが大きな要因と思われます。「広末涼子」は好感度も25%と2位以下を大きく引き離しています。この結果から、日本映画が韓国における「日本人タレント」の認知を高める大きなメディアとなっていることが推測できます。

#### 2. 韓国で認知度1位の日本人ミュージシャンは「X JAPAN」(68%)

日本人ミュージシャンの認知では、「X JAPAN」が68%と圧倒的に高い結果となりました。これは音楽性が評価されているだけでなく、2004年公開の韓国映画『僕の彼女を紹介します』の挿入歌に、日本語の楽曲としては初めて「X JAPAN」の「T e a r s」が採用されたことも大きいと思われます。「安室奈美恵」も54%と過半数が認知しています。安室奈美恵は2004年5月に初の韓国公演を行い、日本人アーティストとしては過去最大規模の2万5000人を動員した人気の高さが表れているようです。

#### 3. 韓国で認知度1位の日本人スポーツ選手は「野茂英雄」(52%)

日本人スポーツ選手の認知では、メジャーリーグで活躍した「野茂英雄」(1位・52%)、現在メジャー活躍中の「イチロー」(2位・47%)、世界のホームラン王「王貞治」(5位・45%)、松井秀喜(8位・33%)などの野球選手が上位に挙がっています。好感度では「イチロー」が25%で最も高くなっています。またサッカー選手では「中田英寿」が2位(47%)、「小野伸二」7位(42%)、三浦知良が9位(26%)に、最近韓国で人気が出てきたK-1では「武蔵」が4位(45%)、「曙」が6位(44%)に入っています。

#### 4. 韓国でメジャーな日本文化は「日本のアニメ」(43%)

日本では近年、韓国ドラマが人気を集めましたが、韓国において日本文化はどのように評価されているのでしょうか。韓国でよく見かける日本文化は「日本のアニメ」が43%で最も高く、次いで「日本映画」36%、「日本のマンガ本」32%と続いています。好きな日本文化としては「日本のアニメ」38%、「日本のマンガ本」27%が上位2を占めています。日本のオタク文化は韓国でも高く評価されているようです。

# 「韓国における日本人タレント・スポーツ選手の人気調査」

## 【調査結果詳細】

### ■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ			
調査地域:	韓国			
調査対象:	エー・アイ・ピーの韓国調査パネル 20~39歳の男女			
有効回答数:	計 498 サンプル(下記の通り均等割付、回収)			
	男性 20代	125 サンプル	女性 20代	125 サンプル
	男性 30代	125 サンプル	女性 30代	123 サンプル
調査日時:	2005年11月21日(月)~11月22日(火)			
調査機関:	株式会社マクロミル・株式会社エー・アイ・ピー			

※今回の調査は、事前調査において純粹想起(自由回答)形式で調査し、本調査では事前調査で比較的多く挙げた回答を選択肢として助成想起形式で調査を行いました。

### ■ 韓国で認知度1位の日本人男性タレントは、「木村拓哉」(30%)

### 韓国で認知度1位の日本人女性タレントは、「広末涼子」(37%)

韓国で認知度が高い日本人タレントをそれぞれ聞いたところ、男性タレントでは、「木村拓哉」が30%と最も高く、次いで「北野武」が27%と続いています。上位にはジャニーズ事務所所属のタレントが多くランキングされています。「北野武」が2位にランキングされているのは、北野武監督の映画が韓国で評価されていることが背景にあるようです。【表1】

また女性タレントでは、「広末涼子」が37%と最も高くなっています。映画「鉄道員(ぽっぽや)」が韓国において人気を博したことが大きな要因と思われます。「広末涼子」は好感度も25%と2位以下を大きく引き離しています。【表2】

下記の結果を見る限り、「日本映画」が韓国における「日本人タレント」の認知を高める大きなメディアとなっていることが推測できます。

【表1】日本人男性タレントの認知度・好感度 (%)

順位	名前	認知度	好感度
1	木村拓哉(SMAP)	30.1	15.3
2	北野武	26.5	10.2
3	松本潤(嵐)	19.1	6.6
4	岡田准一(V6)	18.9	4.8
5	仲村トオル	17.9	6.0
6	織田裕二	16.1	6.6
7	役所広司	12.9	4.0
8	草彅剛(SMAP)	12.7	3.6
8	高倉健	12.7	2.8
10	妻夫木聡	11.4	4.6

【表2】日本人女性タレントの認知度・好感度 (%)

順位	名前	認知度	好感度
1	広末涼子	36.5	24.5
2	宮沢りえ	32.3	9.8
3	深田恭子	23.7	9.2
4	中山美穂	18.5	7.0
5	松たか子	12.4	5.4
6	竹内結子	11.4	4.2
7	仲間由紀恵	10.0	4.0
8	吉岡美穂	8.6	4.0
8	菅野美穂	8.6	1.8
10	石原さとみ	8.4	2.8
10	長谷川京子	8.4	2.4

※ 上記はいずれも認知上位10位、498人回答、複数回答

## ■韓国で認知度 1 位の日本人ミュージシャンは「X JAPAN」(68%)

日本人ミュージシャンの認知では、「X JAPAN」が 68%と圧倒的に高い結果となりました。これは音楽性が評価されているだけでなく、2004 年公開の韓国映画『僕の彼女を紹介します』の挿入歌に、日本語の楽曲としては初めて「X JAPAN」の「Tears」が採用されたことも大きいと思われます。

「安室奈美恵」も 54%と過半数が認知しています。安室奈美恵は 2004 年 5 月に初の韓国公演を行い、日本人アーティストとしては過去最大規模の 2 万 5000 人を動員した人気の高さが表れています。【表 3】

【表3】日本人ミュージシャンの認知度・好感度 (%)

順位	名前	認知度	好感度
1	X JAPAN	68.1	25.1
2	安室奈美恵	54.2	26.1
3	SMAP	36.5	10.8
4	モーニング娘。	26.1	3.0
5	宇多田ヒカル	20.3	8.4
6	浜崎あゆみ	17.7	6.2
6	GLAY	17.7	4.8
8	V6	16.5	2.4
9	平井堅	13.7	4.0
9	ZARD	13.7	6.0

※上記はいずれも認知上位 10 位、498 人回答、複数回答

## ■韓国で認知度 1 位の日本人スポーツ選手は「野茂英雄」(52%)

日本人スポーツ選手の認知では、メジャーリーグで活躍した「野茂英雄」(1 位・52%)、現在メジャー活躍中の「イチロー」(2 位・47%)、世界のホームラン王「王貞治」(5 位・45%)、松井秀喜(8 位・33%)などの野球選手が上位に挙がっています。また、好感度では「イチロー」が 25%で最も高くなっています。

またサッカー選手では「中田英寿」が 2 位 (47%)、「小野伸二」7 位 (42%)、三浦知良が 9 位 (26%) に、最近韓国で人気が出てきたK-1 では「武蔵」が 4 位 (45%)、「曙」が 6 位 (44%)に入っています。【表 4】

【表4】日本人スポーツ選手の認知度・好感度 (%)

順位	名前	認知度	好感度
1	野茂英雄(野球)	52.4	10.4
2	イチロー(野球)	46.6	24.9
2	中田英寿(サッカー)	46.6	16.1
4	武蔵(K-1)	45.2	9.6
5	王貞治(野球)	44.6	13.5
6	曙(K-1)	44.2	3.8
7	小野伸二(サッカー)	42.4	5.6
8	松井秀喜(野球)	32.7	7.2
9	三浦知良(サッカー)	25.5	4.4
10	アントニオ猪木(プロレス)	22.3	3.4

※上記はいずれも認知上位 10 位、498 人回答、複数回答

## ■韓国でメジャーな日本文化は「日本のアニメ」(43%)

日本では近年、韓国ドラマが人気を集めました。韓国において日本文化はどのように評価されているのでしょうか。韓国でよく見かける日本文化は「日本のアニメ」が43%で最も高く、次いで「日本映画」36%、「日本のマンガ本」32%と続いています。好きな日本文化としては「日本のアニメ」38%、「日本のマンガ本」27%が上位2位を占めています。【表5】

年代別にみると、多くのジャンルで30代よりも20代で‘よく見かける日本文化’‘好きな日本文化’における回答が高くなっており、若年層ほど日本文化に対する親しみがあるように思われます。

特に「日本のアニメ」は男性20代では44%、女性20代では52%が‘よく見かける日本文化’と回答しており、男女とも4割強の人が‘好きな日本文化’と回答しています。【表6】

日本のオタク文化は韓国でも高く評価されているようです。

【表5】 韓国人がよくみかける／好きな日本文化（全体）

よくみかける／好きな日本文化(全体:n=498)

順位	ジャンル	よく見かける日本文化	好きな日本文化
1	日本のアニメ	43.4	38.4
2	日本映画	35.7	20.1
3	日本のマンガ本	31.7	27.1
4	日本人のプロスポーツ	26.3	19.1
5	日本の食文化	26.1	16.5
6	日本のテレビドラマ	22.5	15.5
6	日本の音楽	22.5	13.7
8	日本のゲーム	13.3	10.8
9	日本の小説	12.2	7.4
10	日本の伝統的な文化	9.4	4.2

【表6】 韓国人がよくみかける／好きな日本文化（性・年代別）

よくみかける／好きな日本文化(男性20代:n=125)

順位	ジャンル	よく見かける日本文化	好きな日本文化
1	日本のアニメ	44.0	44.0
2	日本人のプロスポーツ	42.4	33.6
3	日本のマンガ本	39.2	35.2
4	日本映画	37.6	25.6
5	日本の音楽	28.8	16.0
6	日本のゲーム	27.2	24.0
6	日本の食文化	27.2	13.6
8	日本のテレビドラマ	22.4	15.2
9	日本の伝統的な文化	9.6	3.2
10	日本の小説	8.0	4.8

よくみかける／好きな日本文化(男性30代:n=125)

順位	ジャンル	よく見かける日本文化	好きな日本文化
1	日本のアニメ	37.6	30.4
2	日本人のプロスポーツ	36.0	28.8
3	日本映画	26.4	16.0
4	日本のマンガ本	20.0	21.6
5	日本の食文化	18.4	10.4
6	日本の音楽	15.2	6.4
7	日本のテレビドラマ	12.0	8.8
8	日本のゲーム	8.8	9.6
9	日本の伝統的な文化	7.2	4.8
10	日本の性風俗	6.4	9.6
10	日本の小説	6.4	4.0

よくみかける／好きな日本文化(女性20代:n=125)

順位	ジャンル	よく見かける日本文化	好きな日本文化
1	日本のアニメ	52.0	44.8
2	日本映画	48.8	25.6
3	日本のマンガ本	41.6	32.0
4	日本のテレビドラマ	36.0	25.6
5	日本の音楽	28.8	22.4
5	日本の食文化	28.8	22.4
7	日本の小説	21.6	14.4
8	日本のファッション	15.2	11.2
9	日本人のプロスポーツ	10.4	4.0
10	日本の伝統的な文化	8.8	3.2

よくみかける／好きな日本文化(女性30代:n=123)

順位	ジャンル	よく見かける日本文化	好きな日本文化
1	日本のアニメ	39.8	34.1
2	日本の食文化	30.1	19.5
2	日本映画	30.1	13.0
4	日本のマンガ本	26.0	19.5
5	日本のテレビドラマ	19.5	12.2
6	日本の音楽	17.1	9.8
7	日本人のプロスポーツ	16.3	9.8
8	日本の小説	13.0	6.5
9	日本の伝統的な文化	12.2	5.7
10	日本のゲーム	8.9	5.7

※上記はいずれも‘よく見かける日本文化’上位10位、498人回答、複数回答

## 【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、独自開発した自動インターネットリサーチシステム【AIRs】(Automatic Internet Research System :エアーズ)を活用し、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声をインターネットで瞬時に集めるネットリサーチのリーディングカンパニーです。国内 37 万人を超える消費者モニタ会員を対象に低価格・迅速なネットリサーチを提供する「QuickMill」を主力サービスに、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なマーケティングリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル  
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
URL ■www.macromill.com  
設立 ■2000年1月31日  
資本金 ■8億7,580万円 ※2005年6月末現在  
上場取引所 ■東証一部 (証券コード:3730)  
代表者 ■代表取締役社長COO 福羽泰紀 (ふくは・やすのり)  
従業員数 ■130名 (うち、契約社員6名) ※2005年11月末現在  
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査(ネットリサーチ)

## 【 株式会社エー・アイ・ピー 会社概要 】

株式会社エー・アイ・ピーは、アジアを中心とする世界 500 万人を超える大規模調査パネルを構築しているグローバルパネルエージェンシーです。2005年2月より、マクロミルと共同で海外調査サービス「GlobalMill」を展開しています。2005年7月より、マクロミルのグループ会社となり、マクロミルとともに海外市場調査サービスを強化しています。

社名 ■株式会社エー・アイ・ピー  
本社 ■東京都千代田区麹町 3-2 Hakuwa ビル 4階 〒102-0083  
URL ■www.asia-info.com  
設立 ■1997年6月18日  
資本金 ■5億62万5000円 ※2005年6月末現在  
代表者 ■代表取締役社長 渡邊秀文 (わたなべ・ひでふみ)  
従業員数 ■22名 ※2005年9月末現在  
事業内容 ■グローバルリサーチ、インターネットを活用したシステム構築、  
アジア地域におけるセールスプロモーション事業

—本件に関するお問い合わせ先—

株式会社マクロミル 広報担当：西沢・三井

東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075

TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com